



次世代保育セミナー

～これからのお育て事業経営を考える～

会員施設が直面しがちな問題や課題等について、全国保育協議会人材養成会議参加者及び本会あおもり保育未来塾メンバーが、それぞれの職務経験や実践研究等を通して学んだこと、感じたことを発表いたします！

日時

3／5(木) 13:30～16:15

形式

オンライン(Zoomミーティング)

内容

<発表1>

「最新！保育人材の確保と定着を探る」

全国保育協議会 人材養成参加者

幼保連携型認定こども園ちとせ幼保園(弘前市)

副園長 草刈 淳之助 氏



<発表2>

「理想論では語れない『誰でも通園制度』

～現場の負担と、それでも見えたもの～」(仮)

幼保連携型認定こども園いしえこども園(青森市)理事長 藤元 大輔 氏

<発表3>

「青森県初！

地域のためのキッズルーム×カフェ経営」(仮)

はまゆりこども園(階上町)園長 石川 清香 氏



<参加者へのメッセージ> あおもり保育未来塾 塾長 藤田 俊彦

参加費

<会員限定> 3,000円/人

※ 詳細は開催要項をご覧ください。

対象者：一般社団法人 青森県保育連合会 会員施設の職員

申込：青森県保育連合会ホームページ「研修案内」掲載の
申込フォームよりお申込みください。

締切：**令和8年2月25日（水）**

問合せ先：一般社団法人 青森県保育連合会 事務局

TEL：017-734-2350 FAX：017-777-8698

HP：<https://aomoriken-hoikurengoukai.jp/>



＜発表概要のご紹介＞

＜発表1＞

「最新！保育人材の確保と定着を探る」

「一生懸命求人を出し、園をアピールしているのに応募がない」その原因は、経営者の思いと求職者のニーズに『ズレ』があるのかもしれません。本発表では、全国の園を対象に実施したアンケートを基に、経営者と現在働いている職員それぞれに、人材確保と定着に向けた思いや考え方を聞いかけます。その結果から見えてくる『ズレ』を手がかりに、人材確保や定着の見直し・改善、より良い取り組みに繋げるためのヒントを探ります。



＜発表2＞

「理想論では語れない『誰でも通園制度』 ～現場の負担と、それでも見えたもの～」(仮)

本発表では、青森市において先行実施している「誰でも通園制度」について、制度の理想や国の方針ではなく、実際に園を運営する立場から見た現実を共有。

導入当初、現場からは「事務負担が増える」「人手不足の中で余裕がない」「現場が疲弊するのではないか」といった否定的な声が多く上がった。事業主としても、これらの懸念はもっともであり、負担が増えること自体は事実であると認識しています。

一方で、実際に運用していく中で、想定していなかった利用者層や子どもの姿に触れ、制度の是非とは別の次元で「園の役割」について考えさせられる場面が生まれ、現場職員の中からも、戸惑いを抱えながらも制度を一律に否定しきれない理由が発生。



＜発表3＞

「青森県初！地域のためのキッズルーム×カフェ経営」(仮)

地域交流の拠点として誕生した経緯とその裏側とは？

ここから始まる「つながり」の効果とは？

経営者目線の「気になる」を包み隠さずお伝えします！

